

安全データシート

作成日：2001年05月09日

改訂日：2016年01月25日

1. 製品及び会社情報

製品名 メガコンパウンド
 会社名 都インキ株式会社
 住所 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東 1-7-13
 担当部門 技術課
 担当者 中田 敦嗣
 電話番号 06-6961-0101 FAX 番号 06-6961-0303
 整理番号 Z-109-02

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分外
健康有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入：気体）	分類できない
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉塵 及び ミスト）	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷 / 眼刺激性	区分外
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分外
	特定標的臓器（単回暴露）	区分外
特定標的臓器（反復暴露）	区分外	
吸引性呼吸器有害性	区分外	
環境有害性	水生環境有害性（急性）	区分外
	水生環境有害性（慢性）	区分

GHS ラベル要素

絵表示 : なし
 注意喚起語 : なし
 危険有害性情報 : なし

注意書き

安全対策

- 容器を密閉しておくこと。
- 保護手袋、保護眼鏡、保護マスクを着用すること。
- 取扱後は手をよく洗うこと。
- 環境への放出を避けること。

応急措置

- 眼に入った場合：直ちに多量の水で 15 分間以上洗い流し、眼科医の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄し、直ちに医師の手当てを受ける。
- 皮膚付着の場合：直ちに汚染された衣服や靴等を脱がせ、付着部又は接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水で洗い流す。もし皮膚に炎症を生じた場合は医師の手当てを受ける。

廃棄

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

化学名	含有量 (%)	化学式	官報公示 No (化審法)	CAS No
鉱油*	1~10	—	—	—

*労働安全衛生法：通知対象物質

毒劇物法の該当：該当しない

4. 応急措置

- 吸入した場合：濃厚な蒸気やミストを吸入した場合は直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、多量の水でうがいさせ、速やかに医師の手当てを受ける。
 - 皮膚に付着した場合：直ちに水・温水等で洗い流した後、石鹼でよく洗い落とす。もし皮膚に炎症を生じた場合は医師の手当てを受ける。
 - 眼に入った場合：直ちに清浄な流水で 15 分以上洗眼し眼科医の手当てを受ける。眼球を傷つける可能性があるため目をこすらない。
 - 飲み込んだ場合：嘔吐が自然に生じた時は気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。水で口内を洗浄し、可能であれば喉に指を差し込んで吐き出させ直ちに医師の手当てを受ける。
- 応急措置をする者の保護：救済者は保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- 消火剤：泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂
- 使ってはならない消火剤：棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。

- 特定の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち消火剤を用いて風上より消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。周囲の設備等には散水し冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急措置 : 作業には、必ず適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。
漏出した場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止にし、周囲を土砂等で囲う。
必要に応じた換気を確保する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
- 封じ込め及び浄化の方法 : 少量の場合はウェス等で拭き取り、密閉できる空容器に回収する。多量の場合は盛土等で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
・機材
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くと共に消火剤を準備する。床を濡れた状態で放置すると滑りやすく、スリップ事故の原因となるため注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気 : 『8.暴露防止及び保護措置』の項目を参照。
- 安全取扱い注意事項 : 火気厳禁。漏洩した際は早期に完全除去を行う。

保管

- 適切な保管条件 : 屋内の通気のよい場所で容器を密閉し保管し、火気熱源から遠ざける。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 屋内作業所で使用の場合は発生源の密閉化又は全体換気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄の為の設備を設置する。

管理濃度 : 設定されていない。(作業環境評価基準 : 平成 21 年厚生労働省告示第 194 / 195 号)

許容濃度 : 鉱油ミストとして : 日本産業衛生学会 (2010 年度版) $3\text{mg}/\text{m}^3$

ACGIH (2010 年度版) 時間荷重平均 (TWA) 値 $5\text{mg}/\text{m}^3$

保護具

- 呼吸器用の保護具 : 通常は必要でないが、必要により有機溶剤用防毒マスク等を使用する。
- 手の保護具 : ゴム手袋等耐油性の保護手袋を着用する。
- 眼の保護具 : ゴーグル型、全面型等の保護眼鏡を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 帯電防止性能を有する長袖保護衣及び安全靴を着用する。

危険有害性の要約

最重要・危険有害性 :

- 分類の名称 : 危険有害性の分類基準に該当しない

有害性 : 知見なし
 物理的・化学的危険性 : 消防法上非危険物 (可燃性固体類)
 環境影響 : 知見なし
 GHS 分類基準に該当しない

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状 : 固体
 色 : 茶褐色
 臭い : 植物油臭
 pH : データなし

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点 : データなし
 分解温度 : データなし
 引火点 : 230℃以上
 発火点 : データなし
 蒸気圧 : データなし
 比重 : 0.90~0.95
 溶解度 : 水に不溶

10. 安定性及び反応性

安定性・反応性 : 空気と接触して徐々に酸化重合する。この製品の (又は製品を含有する印刷インキ等) の乾燥皮膜、及びこの製品を拭取ったウエス等は水の張った不燃性の容器に入れて蓋をする。

避けるべき条件 : 高温、加熱

混触危険物質 : 第一類、第六類の危険物、及び高压ガスとの混触は避ける。

危険有害な分解生成物 : 燃焼により CO、NO_x などの有害ガスが発生する。

11. 有害情報 製品としての有害性情報 : なし

鉱油としての有害情報

急性毒性 : 経口 : ラット LD₅₀ 5000mg/kg 以上
 経皮 : ラット LD₅₀ 5000mg/kg 以上
 吸入 (蒸気) : データなし
 吸入 (ミスト) : ラット LC₅₀ 5mg/L 以上 (基油)

皮膚腐食性・刺激性 : 皮膚刺激性に区分する情報はない。ウサギによる複数の皮膚刺激試験において、皮膚刺激性に区分する結果は得られていない。ただし、長期間または繰り返し接触した場合には、皮膚脱脂による皮膚炎を起こす可能性があるので注意すること。

眼に対する重篤な損傷・眼刺激 : 眼刺激性に区分する情報はない。ウサギによる複数の眼刺激試験にお

	いて、眼刺激性に区分する結果は得られていない。
呼吸器感受性	: 現在のところ有用な情報なし。
皮膚感受性	: モルモットを用いた複数の試験（ヒューラーテスト）において、いずれも皮膚感受性なしとの結果が得られている。
生殖細胞変異原性	: AMES 試験において Mutagenicity Index (MI) 値が 0.0 との報告がある。基油について広範囲な変異原性試験（in vivo 及び in vitro）が実施されているが、大部分の結果から変異原性を示す結果は得られておらず、生殖細胞変異原性なしと判断する。
発がん性	: IARC では、高度精製油はグループ 3（ヒトに対する発がん性について分類できない）に分類され、ACGIH の提案もほぼ同様の分類と言える。EU による評価では、発がん性物質としての分類は適用される必要はない。基油についての各種動物への皮膚暴露試験から得られた知見により発がん性なしと判断されている。
生殖毒性	: ラットにおける複数の発育毒性及び生殖毒性試験において、有害性を示す結果は得られなかった。
特定標的臓器（単回暴露）	: 急性試験による各種特定臓器への単回暴露毒性は認められなかった。
特定標的臓器（反復暴露）	: 経皮及び吸入投与による 4 週間から 2 年間の反復毒性試験を行ったが、全身に対する影響は確認されなかった。
吸引性呼吸器有害性	: 40℃の動粘性率が 20.5mm ² /s 以下の炭化水素に該当しないため分類できない。

12. 環境影響情報：製品としての環境影響情報

生体毒性、残留性/分解性、生体蓄積性、土壌中の移動性、いずれも現在のところ有用な情報なし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法及び関係法規・法令を遵守して、適正に処理する。

汚染容器・包装 : 同上

14. 輸送上の注意

特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器に破損、腐食、漏れ等のないことを確認する。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

15. 適用法令

消防法分類 : 危険物に該当しない（指定可燃物 可燃性固体類）

化学物質管理促進法（P R T R法） : 該当しない

労働安全衛生法

特定化学物質障害予防規則 : 該当しない

有機溶剤中毒予防規則	: 該当しない
ラベル表示対象物質	: 該当しない
SDS 通知対象物質	: 該当 No.168 鉱油
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	: 特別管理産業廃棄物 (廃油)

16. その他情報

参考資料	製品安全データシートの作成資料	社団法人	印刷インキ工業連合会
	消防法関係法令集	社団法人	大阪市防火管理協会
	労働安全衛生法		労働行政研究所
	安全データシートの作成資料	JIS Z 7253	: 2012

★この「安全データシート (SDS)」の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。

本製品を取り扱う場合はこの記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した適切な処置を講じて下さい。

本データシートは、安全や品質の保証書ではありません。

★この「安全データシート (SDS)」は JIS Z 7253 : 2012 に基づいて作成したものです。